

学校コード F104310100969

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

**届出**

注2

仙台白百合女子大学 人間学部 子ども教育学科

**【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書**  
(改正前大学設置基準適用)

学校法人白百合学園

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 教務課

職名・氏名 課長 サトウ ヒロアキ 佐藤 啓朗

電話番号 022-374-5026

(夜間)

e-mail kyomu@sendai-shirayuri.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

人間学部

<子ども教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人白百合学園

## (2) 大学名

仙台白百合女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒981-3107

宮城県仙台市泉区本田町6番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ギハラ レイコ) 荻原 禮子 (平成31年 4月)		
学長	(ヤグチ ヨブ) 矢口 洋生 (平成29年 4月)		
学部長	(オホモト イズミ) 大本 泉 (令和4年 4月)		
学科長等	(ユサ シゲキ) 遊佐 重樹 (令和5年 4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人間学部 子ども教育学科 学士(人間科学)	教育学・保育 学関係	4 年	70 人	2年次 0 人 3年次 5 人 4年次 0 人	290 人	-	「人間発達学科」

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	70人	-	-	-	-
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	59	-	-	-	-
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	59	-	-	-	-
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	58	-	-	-	-
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	36	-	-	-	-
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.51	-	-	-	-

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、( )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	36人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{36} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間学部 子ども教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通部分											
関連する科目の精神に	キリスト教学ⅠA	1前	2								1
	キリスト教学ⅠB	1後	2								1
	キリスト教学Ⅱ	2前	2								1
	人間論	3前	2			1					
	小計(4科目)	-	8	0	0	1	0	0	0	0	0
グローバル化に関する科目	英語Ⅰ	1前	1			1		1			
	英語Ⅱ	1後	1			1		1			
	オールラウンドコミュニケーションⅠ	2前	1								2
	オールラウンドコミュニケーションⅡ	2後	1								2
	フランス語ⅠA	1前		1							1
	フランス語ⅠB	1後		1							1
	ドイツ語ⅠA	1前		1							1
	ドイツ語ⅠB	1後		1							1
	スペイン語ⅠA	1前		1							1
	スペイン語ⅠB	1後		1							1
	中国語ⅠA	1前		1							1
	中国語ⅠB	1後		1							1
	韓国語ⅠA	1前		1							1
	韓国語ⅠB	1後		1							1
	フランス語ⅡA	2前		1							1
	フランス語ⅡB	2後		1							1
	ドイツ語ⅡA	2前		1							1
	ドイツ語ⅡB	2後		1							1
	スペイン語ⅡA	2前		1							1
	スペイン語ⅡB	2後		1							1
	中国語ⅡA	2前		1							1
	中国語ⅡB	2後		1							1
	韓国語ⅡA	2前		1							1
	韓国語ⅡB	2後		1							1
小計(24科目)	-		4	20	0	1	0	1	0	0	7
基礎教育科目	共通基礎演習	1前	1			1		3			
	子ども教育入門	1後	1			2	1	1			
	日本語表現Ⅰ	1後	2								1
	日本語表現Ⅱ	2前	2								1
	情報処理概論	1前	2								1
小計(5科目)	-		6	2	0	2	1	4	0	0	3
キャリア教育	キャリア・デザインⅠ	1前	2								1
	キャリア・デザインⅡ	2後		2							1
	キャリア・デザインⅢ	3通		1							2
	小計(3科目)	-		2	3	0	0	0	0	0	3
教養共通科目(人文)	哲学(東洋哲学を含む)	1前		2							1
	文学	1後		2							1
	宗教と文学	3前		2							1
	宗教と音楽	3後		2							1
	宗教と美術	3後		2		1					1
	宗教学	2後		2							1
	日本史Ⅰ	1前		2							1
	外国史Ⅰ	1前		2							1
	心理学概論	1前		2							1
	情報社会と倫理	1前		2							1
	コミュニケーション論	1後		2							1
小計(11科目)	-		0	22	0	1	0	0	0	0	9
教養共通科目(社会)	ジェンダー論	2前		2							1
	経済学	1前・後		2							1
	国際関係論	1後		2							1
	社会福祉学	2前		2							1
	法学	1後		2							1
	日本国憲法	1前		2							1
	社会学	1前		2							1
小計(7科目)	-		0	14	0	0	0	0	0	0	7

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通部分												
関連する科目の精神に	キリスト教学ⅠA	1前	2						1			
	キリスト教学ⅠB	1後	2						1			
	キリスト教学Ⅱ	2前	2								1	
	人間論	3前	2						1			
	小計(4科目)	-		8	0	0		2	0	0	0	0
グローバル化に関する科目	英語Ⅰ	1前	1					1		1		
	英語Ⅱ	1後	1					1		1		
	オールラウンドコミュニケーションⅠ	2前	1								2	
	オールラウンドコミュニケーションⅡ	2後	1								2	
	フランス語ⅠA	1前		1							1	
	フランス語ⅠB	1後		1							1	
	ドイツ語ⅠA	1前		1							1	
	ドイツ語ⅠB	1後		1							1	
	スペイン語ⅠA	1前		1							1	
	スペイン語ⅠB	1後		1							1	
	中国語ⅠA	1前		1							1	
	中国語ⅠB	1後		1							1	
	韓国語ⅠA	1前		1							1	
	韓国語ⅠB	1後		1							1	
	フランス語ⅡA	2前		1							1	
	フランス語ⅡB	2後		1							1	
	ドイツ語ⅡA	2前		1							1	
	ドイツ語ⅡB	2後		1							1	
	スペイン語ⅡA	2前		1							1	
	スペイン語ⅡB	2後		1							1	
	中国語ⅡA	2前		1							1	
	中国語ⅡB	2後		1							1	
	韓国語ⅡA	2前		1							1	
	韓国語ⅡB	2後		1							1	
小計(24科目)	-		4	20	0	1	0	1	0	0	7	
基礎教育科目	共通基礎演習	1前	1					1	1	2		
	子ども教育入門	1後	1					2	2			
	日本語表現Ⅰ	1後	2						1			
	日本語表現Ⅱ	2前	2						1			
	情報処理概論	1前	2								1	
小計(5科目)	-		6	2	0		3	3	2	0	0	1
キャリア教育	キャリア・デザインⅠ	1前	2								1	
	キャリア・デザインⅡ	2後		2							1	
	キャリア・デザインⅢ	3通		1							2	
	小計(3科目)	-		2	3	0	0	0	0	0	0	3
教養共通科目(人文)	哲学(東洋哲学を含む)	1前		2							1	
	文学	1後		2							1	
	宗教と文学	3前		2							1	
	宗教と音楽	3後		2							1	
	宗教と美術	3後		2			1				1	
	宗教学	2後		2							1	
	日本史Ⅰ	1前		2							1	
	外国史Ⅰ	1前		2							1	
	心理学概論	1前		2							1	
	情報社会と倫理	1前		2							1	
	コミュニケーション論	1後		2							1	
小計(11科目)	-		0	22	0	1	0	0	0	0	9	
教養共通科目(社会)	ジェンダー論	2前		2							1	
	経済学	1前・後		2							1	
	国際関係論	1後		2							1	
	社会福祉学	2前		2							1	
	法学	1後		2							1	
	日本国憲法	1前		2							1	
	社会学	1前		2							1	
小計(7科目)	-		0	14	0	0	0	0	0	0	7	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
			修	択	由	授	授	師	教	手	
教養共通科目(自然)	環境科学	4後	2								1
	健康科学	1後	2								1
	数学	1前	2		1						
	統計学	3前	2								1
	生命科学	4後	2								1
	情報科学	1後	2								1
	情報処理 I	1後	2								1
	情報処理 II	2前	2								1
	健康とスポーツA	1前	1								1
	健康とスポーツB	1後	1								1
小計(10科目)	-	0	18	0	1	0	0	0	0	0	6
専門科目											
学科基礎科目群	教育学概論	1前	2								1
	保育学概論	1前	2		1						
	子ども教育基礎演習 I	2前	1		2	1					
	子ども教育基礎演習 II	2後	1		2	1					
	子ども教育総合演習 I	3前	2		6	3	4				
	子ども教育総合演習 II	3後	2		6	3	4				
	子ども教育総合演習 III	4前	2		6	3	4				
	子ども教育総合演習 IV	4後	2		6	3	4				
	卒業研究	4通	4		6	3	4				
	小計(9科目)	-	12	6	0	6	3	4	0	0	0
教職基礎科目群	幼児教育基礎演習A	1後	1		1		1	1			
	幼児教育基礎演習B	2前	1		1		1	1			
	学校教育基礎演習A	2前	1		3	1					
	学校教育基礎演習B	2後	1		3	1					
	保育者論	1前	2		1						
	教職論	1後	2		1						
	教育・学校心理学	2前	2								1
	教育行政学	2後	2		1						
	特別支援教育論	3後	1		1		1				
	教育課程論	3前	2								1
	教育方法論	3後	2								1
	教育とICT活用	3後	1			1					
	子どもの理解と援助	3前	2		1						
	生徒指導・進路指導論	3前	2								2
	教育相談	3前	2					1			
小計(15科目)	-	0	24	0	5	1	2	1	0	0	4
指導法科目群A	保育内容総論	3前	2								1
	保育内容(健康)	2後	2				1				
	保育内容(人間関係)	2前	2				1				
	保育内容(環境)	2後	2				1				1
	保育内容(言葉)	2前	2		1						
	保育内容(表現(音楽))	2後	1			1					
	保育内容(表現(身体))	2後	1				1				
	保育内容(表現(造形))	2後	1			1					
	初等教科教育法(国語)	2前	2		1						
	初等教科教育法(社会)	2後	2			1					
	初等教科教育法(算数)	2前	2								1
	初等教科教育法(理科)	2前	2								2
	初等教科教育法(生活)	2前	2								1
	初等教科教育法(音楽)	2後	2			1					
	初等教科教育法(図画工作)	2後	2			1					
	初等教科教育法(家庭)	2後	2								2
	初等教科教育法(体育)	2後	2					1			
	初等教科教育法(英語)	1後	2		1						
	道德教育の指導法	3前	2								1
	総合的な学習の時間の指導法	3前	2								3
	特別活動の指導法	3前	2								1
小計(21科目)	-	0	39	0	3	3	2	0	0	0	9

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
			修	択	由	授	授	師	教	手	
教養共通科目(自然)	環境科学	4後	2								1
	健康科学	1後	2								1
	数学	1前	2			1					
	統計学	3前	2								1
	生命科学	4後	2								1
	情報科学	1後	2					1			1
	情報処理 I	1後	2								1
	情報処理 II	2前	2								1
	健康とスポーツA	1前	1								1
	健康とスポーツB	1後	1								1
小計(10科目)	-	0	18	0	1	1	0	0	0	0	6
専門科目											
学科基礎科目群	教育学概論	1前	2								1
	保育学概論	1前	2		1						
	子ども教育基礎演習 I	2前	1		2	1					
	子ども教育基礎演習 II	2後	1		2	1					
	子ども教育総合演習 I	3前	2		7	5	2				
	子ども教育総合演習 II	3後	2		7	5	2				
	子ども教育総合演習 III	4前	2		7	5	2				
	子ども教育総合演習 IV	4後	2		7	5	2				
	卒業研究	4通	4		7	5	2				
	小計(9科目)	-	12	6	0	7	5	2	0	0	0
教職基礎科目群	幼児教育基礎演習A	1後	1			3		1	1		
	幼児教育基礎演習B	2前	1			3		1	1		
	学校教育基礎演習A	2前	1			3	1				
	学校教育基礎演習B	2後	1			3	1				
	保育者論	1前	2			1					
	教職論	1後	2			1					
	教育・学校心理学	2前	2								1
	教育行政学	2後	2			1					
	特別支援教育論	3後	1			1	1				
	教育課程論	3前	2								1
	教育方法論	3後	2								1
	教育とICT活用	3後	1				1				
	子どもの理解と援助	3前	2				1				
	生徒指導・進路指導論	3前	2								2
	教育相談	3前	2					1			
小計(15科目)	-	0	24	0	5	2	1	1	0	0	4
指導法科目群A	保育内容総論	3前	2								1
	保育内容(健康)	2後	2				1				
	保育内容(人間関係)	2前	2						1		
	保育内容(環境)	2後	2						1		
	保育内容(言葉)	2前	2					2			
	保育内容(表現(音楽))	2後	1				1				
	保育内容(表現(身体))	2後	1				1				
	保育内容(表現(造形))	2後	1				1				
	初等教科教育法(国語)	2前	2				1				
	初等教科教育法(社会)	2後	2					1			
	初等教科教育法(算数)	2前	2								1
	初等教科教育法(理科)	2前	2								2
	初等教科教育法(生活)	2前	2								1
	初等教科教育法(音楽)	2後	2					1			
	初等教科教育法(図画工作)	2後	2					1			
	初等教科教育法(家庭)	2後	2								2
	初等教科教育法(体育)	2後	2					1			
	初等教科教育法(英語)	1後	2					1			
	道德教育の指導法	3前	2								1
	総合的な学習の時間の指導法	3前	2								4
	特別活動の指導法	3前	2								2
小計(21科目)	-	0	39	0	3	4	1	0	0	0	13



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
指導法科目群B	指導法の研究	2後	2					1	1			
	子どもと健康	2前	1					1				
	子どもと人間関係	1後	1					1				
	子どもと環境	2前	1					1				
	子どもと言葉	1後	1			2						
	子どもと音楽	2前	1				1					
	子どもと造形	2前	1				1					
	ピアノI A	2前	1				1					6
	ピアノI B	2後	1				1					6
	ピアノII	3前	2				1					4
	声楽・器楽	3前	2									2
	ピアノ入門A	1前	1				1					1
	ピアノ入門B	1後	1				1					6
	音楽入門	1前	2									1
	造形入門	1後	1				1					
	中等英語教育法I	1後	2									1
	中等英語教育法II	2前	2									1
	中等英語教育法III	2後	2									1
	中等英語教育法IV	3前	2									1
小計(19科目)	-	0	27	0	2	2	2	1	0	13		
実践・実習科目群	教育実習の事前事後指導(幼稚園)A	3前	1			1	2		1			
	教育実習の事前事後指導(幼稚園)B	3後	1			1	2		1			
	教育実習の事前事後指導(小・中)A	3前	1			3						
	教育実習の事前事後指導(小・中)B	3後	1			3						
	教育実習(幼稚園)	3後	4			1						
	教育実習(小・中)	3後	4			1						
	保育・教職実践演習(幼稚園)	4後	2			1		2	1			
	教職実践演習(小・中)	4後	2			3	1					
小計(8科目)	-	0	16	0	4	3	2	1	0	0		
保育科目群	子ども家庭福祉	2前	2									1
	社会的養護I	2前	2									1
	保育の心理学	2後	2		1							
	子ども家庭支援の心理学	4前	2					1				
	子どもの保健	1後	2									1
	子どもの健康と安全	4前	1									1
	子どもの食と栄養	3前	2									2
	保育の計画と評価	2前	2					1	1			
	乳児保育I	2前	2									1
	乳児保育II	2後	1									1
	障害児保育演習	3前	2		1			1				
	社会的養護II	3前	1									1
	子ども家庭支援論	3後	2					1				
	子育て支援	3後	1									1
	保育実習I	3・4前	4			1						
	保育実習指導IA	3前	1		1		2	1				
	保育実習指導IB	4前	1		1		2	1				
	保育実習II	3後	2		1							
	保育実習指導II	3後	1		2		3	1				
小計(19科目)	-	0	33	0	2	0	3	1	0	7		
教科関連科目群A	小学校国語	1後	2			1						
	小学校社会	2前	2				1					
	小学校算数	1後	2			1						
	小学校理科	1後	2									1
	小学校生活	1後	2									1
	小学校音楽	2前	2				1					
	小学校図画工作	2前	2				1					
	小学校家庭	2前	2									1
	小学校体育	2前	2					1				
	小学校英語	1前	2			1						
小計(10科目)	-	0	20	0	3	3	1	0	0	3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
指導法科目群B	指導法の研究	2後	2									
	子どもと健康	2前	1					1		1		
	子どもと人間関係	1後	1							1		
	子どもと環境	2前	1							1		
	子どもと言葉	1後	1						2			
	子どもと音楽	2前	1				1					
	子どもと造形	2前	1				1					
	ピアノI A	2前	1				1					6
	ピアノI B	2後	1				1					6
	ピアノII	3前	2				1					4
	声楽・器楽	3前	2									2
	ピアノ入門A	1前	1				1					1
	ピアノ入門B	1後	1				1					6
	音楽入門	1前	2									1
	造形入門	1後	1				1					
	中等英語教育法I	1後	2									1
	中等英語教育法II	2前	2									1
	中等英語教育法III	2後	2									1
	中等英語教育法IV	3前	2									1
小計(19科目)	-	0	27	0	2	3	1	1	0	13		
実践・実習科目群	教育実習の事前事後指導(幼稚園)A	3前	1			2	2		1			
	教育実習の事前事後指導(幼稚園)B	3後	1			2	2		1			
	教育実習の事前事後指導(小・中)A	3前	1			3						
	教育実習の事前事後指導(小・中)B	3後	1			3						
	教育実習(幼稚園)	3後	4			1						
	教育実習(小・中)	3後	4			1						
	保育・教職実践演習(幼稚園)	4後	2			1	1	1	1			
	教職実践演習(小・中)	4後	2			3	1					
小計(8科目)	-	0	16	0	4	4	1	1	0	0		
保育科目群	子ども家庭福祉	2前	2					1				
	社会的養護I	2前	2									1
	保育の心理学	2後	2		1							
	子ども家庭支援の心理学	4前	2					1				
	子どもの保健	1後	2									1
	子どもの健康と安全	4前	1									1
	子どもの食と栄養	3前	2									2
	保育の計画と評価	2前	2					1	1			
	乳児保育I	2前	2									1
	乳児保育II	2後	1									1
	障害児保育演習	3前	2		1			1				
	社会的養護II	3前	1									1
	子ども家庭支援論	3後	2					1				
	子育て支援	3後	1									1
	保育実習I	3・4前	4			1						
	保育実習指導IA	3前	1		1		1	1	1			
	保育実習指導IB	4前	1		1		1	1	1			
	保育実習II	3後	2		1							
	保育実習指導II	3後	1		2		2	1	1			
小計(19科目)	-	0	33	0	2	2	1	1	0	6		
教科関連科目群A	小学校国語	1後	2			1						
	小学校社会	2前	2				1					
	小学校算数	1後	2			1						
	小学校理科	1後	2									1
	小学校生活	1後	2									1
	小学校音楽	2前	2				1					
	小学校図画工作	2前	2				1					
	小学校家庭	2前	2									1
	小学校体育	2前	2					1				
	小学校英語	1前	2			1						
小計(10科目)	-	0	20	0	3	4	0	0	0	3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教科関連科目群B	English Pronunciation	1前	2			1						1
	English Grammar	3前	2									
	English Linguistics	4前	2			1						
	イギリスの文学	3前	2									1
	アメリカの文学	2後	2									1
	英作文 I	1後	1					1				
	英作文 II	3前	1					1				
	英文講読 I	1後	1					1				
	英文講読 II	3後	1					1				
	英会話 I	3前	1									1
	英会話 II	3後	1									1
	比較文化論	1前	2									1
小計(12科目)	-	0	18	0	1	0	1	0	0	0	4	
発展科目群	子ども論	1前	2						1			
	発達障害論	4前	2					1				
	保育表現演習	4後	1			2	1					
	子どもの食と栄養実習	4前	1									1
	教科教育研究演習	3前	2			2	1					
	教科教育実践演習	3後	2			2	1					
	幼保こ小一貫教育論	4前	2			1						
	小中一貫教育論	4後	2			1	1	1				
	現代教育課題研究 I	3前	1			1						
	現代教育課題研究 II	3後	1			1						
	教育評価の理論と方法	3前	2			1						
	プログラミング教育基礎演習	3後	2									1
	障害者・障害児心理学	3前	2					1				
	発達心理学	1前	2									1
	子どもの心理	2後	2									1
	児童文学論	4前	2			1						
	児童文化論	3前	2			1						
	子どもと絵本	4前	2				1					
	人権と教育	4後	2			1						
	地域保育演習	1通	2					1	1			
	レクリエーション論	2前	2									1
	レクリエーション実習	3通	1					1				
	英語発音入門	2後	2			1						
	Listening Comprehension	3前	2			1						
	児童英語概論	2後	2			1						
	児童英語教授法演習	3前	2									1
	STEP Preparation	1後	1									1
	TOEIC Preparation I	1後	1									1
	TOEIC Preparation II	2前	1									1
	学校と地域社会教育実習	3前	1				1					
	子どもと地域文化演習	3後	1				1					
	児童英語海外教育研修	1後	2			1						
	比較教育体験実習	1後	2				1					
小計(33科目)	-	0	56	0	5	3	4	1	0	0	7	
合計(210科目)	-	32	318	0	6	3	4	1	0	0	71	

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】  
 学科共通部分から30単位以上、専門科目から70単位以上、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限：49単位(年間))  
 【履修方法】  
 学科共通部分から必修科目20単位、選択必修科目10単位(グローバル化に関する科目2単位、教養共通科目(人文)2単位、同(社会)2単位、同(自然)4単位)を修得すること。  
 学校教育コースは、専門科目から必修科目12単位、「学校教育基礎演習A」「学校教育基礎演習B」2単位、「中等英語教育法I」「中等英語教育法II」4単位、「English Pronunciation」「English Grammar」「英作文I」「英文講読I」「英会話I」「比較文化論」9単位、選択必修科目38単位(教職基礎科目群6単位、指導法科目群A10単位、教科関連科目群A10単位、教科関連科目群B2単位、発展科目群10単位)を修得すること。  
 幼児教育コースは、専門科目から必修単位12単位、「保育学概論」2単位、「幼児教育基礎演習A」「幼児教育基礎演習B」「保育者論」4単位、「保育内容総論」2単位、選択必修科目25単位(教職基礎科目群4単位、指導法科目群A5単位、指導法科目群B6単位、発展科目群10単位)を修得すること。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教科関連科目群B	English Pronunciation	1前	2			1						
	English Grammar	3前	2									1
	English Linguistics	4前	2			1						
	イギリスの文学	3前	2									1
	アメリカの文学	2後	2									1
	英作文 I	1後	1					1				
	英作文 II	3前	1					1				
	英文講読 I	1後	1					1				
	英文講読 II	3後	1					1				
	英会話 I	3前	1					1				1
	英会話 II	3後	1					1				1
	比較文化論	1前	2									1
小計(12科目)	-	0	18	0	1	0	1	0	0	0	4	
発展科目群	子ども論	1前	2							1		
	発達障害論	4前	2					1				
	保育表現演習	4後	1					3				
	子どもの食と栄養実習	4前	1									1
	教科教育研究演習	3前	2			2	1					
	教科教育実践演習	3後	2			2	1					
	幼保こ小一貫教育論	4前	2			1						
	小中一貫教育論	4後	2			1	1	1				
	現代教育課題研究 I	3前	1			1						
	現代教育課題研究 II	3後	1			1						
	教育評価の理論と方法	3前	2			1						
	プログラミング教育基礎演習	3後	2									1
	障害者・障害児心理学	3前	2					1				
	発達心理学	1前	2									1
	子どもの心理	2後	2									1
	児童文学論	4前	2			1						
	児童文化論	3前	2			1						
	子どもと絵本	4前	2				1					
	人権と教育	4後	2			1						
	地域保育演習	1通	2						1	1		
	レクリエーション論	2前	2									1
	レクリエーション実習	3通	1					1				
	英語発音入門	2後	2			1						
	Listening Comprehension	3前	2			1						
	児童英語概論	2後	2			1						
	児童英語教授法演習	3前	2									1
	STEP Preparation	1後	1									1
	TOEIC Preparation I	1後	1									1
	TOEIC Preparation II	2前	1									1
	学校と地域社会教育実習	3前	1				1					
	子どもと地域文化演習	3後	1				1					
	児童英語海外教育研修	1後	2			1						
	比較教育体験実習	1後	2				1					
小計(33科目)	-	0	56	0	5	5	2	1	0	0	7	
合計(210科目)	-	32	318	0	7	5	2	1	0	0	73	

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】  
 学科共通部分から30単位以上、専門科目から70単位以上、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限：49単位(年間))  
 【履修方法】  
 学科共通部分から必修科目20単位、選択必修科目10単位(グローバル化に関する科目2単位、教養共通科目(人文)2単位、同(社会)2単位、同(自然)4単位)を修得すること。  
 学校教育コースは、専門科目から必修科目12単位、「学校教育基礎演習A」「学校教育基礎演習B」2単位、「中等英語教育法I」「中等英語教育法II」4単位、「English Pronunciation」「English Grammar」「英作文I」「英文講読I」「英会話I」「比較文化論」9単位、選択必修科目38単位(教職基礎科目群6単位、指導法科目群A10単位、教科関連科目群A10単位、教科関連科目群B2単位、発展科目群10単位)を修得すること。  
 幼児教育コースは、専門科目から必修単位12単位、「保育学概論」2単位、「幼児教育基礎演習A」「幼児教育基礎演習B」「保育者論」4単位、「保育内容総論」2単位、選択必修科目25単位(教職基礎科目群4単位、指導法科目群A5単位、指導法科目群B6単位、発展科目群10単位)を修得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ①授業科目表に関する変更内容

**【令和5年度】**

- ・ 担当教員の学科間調整により、「キリスト教学ⅠA」「キリスト教学ⅠB」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に、「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「共通基礎演習」の専任教員等の配置を「准教授0」「講師3」から「准教授1」「講師2」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「子ども教育入門」の専任教員等の配置を「准教授1」「講師1」から「准教授2」「講師0」に変更。
- ・ 担当教員の新規就任により、「日本語表現Ⅰ」「日本語表現Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・ 指導体制充実の理由により、「情報科学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 指導体制充実の理由および担当教員の職位変更により、「子ども教育基礎演習Ⅰ」「子ども教育基礎演習Ⅱ」「子ども教育基礎演習Ⅲ」「子ども教育基礎演習Ⅳ」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授3」「講師4」から「教授7」「准教授5」「講師2」に変更。
- ・ 指導体制充実の理由により、「幼児教育基礎演習A」「幼児教育基礎演習B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「特別支援教育論」の専任教員等の配置を「准教授0」「講師1」から「准教授1」「講師0」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「教育相談」の専任教員等の配置を「准教授0」「講師1」から「准教授1」「講師0」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「保育内容(健康)」の専任教員等の配置を「准教授0」「講師1」から「准教授1」「講師0」に変更。
- ・ 指導体制充実の理由により、「保育内容(言葉)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「保育内容(表現(身体))」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」「講師1」「講師0」に変更。
- ・ 教職課程認定申請の審査結果により、「初等教科教育法(理科)」を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「初等教科教育法(体育)」の専任教員等の配置を「准教授0」「講師1」から「准教授1」「講師0」に変更。
- ・ 教職課程認定申請の審査結果により、「総合的な学習の時間の指導法」を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 教職課程認定申請の審査結果により、「特別活動の指導法」を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 誤記の理由により、指導法科目群Aの小計を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任13」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「子どもと健康」の専任教員等の配置を「准教授0」「講師1」から「准教授1」「講師0」に変更。
- ・ 指導体制充実の理由により、「教育実習の事前事後指導(幼稚園)A」「教育実習の事前事後指導(幼稚園)B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「保育・教職実践演習(幼稚園)」の専任教員等の配置を「准教授0」「講師2」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・ 担当教員の退職により、「子ども家庭福祉」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「子ども家庭支援の心理学」「子ども家庭支援論」の専任教員等の配置を「准教授0」「講師1」から「准教授1」「講師0」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「保育実習指導ⅠA」「保育実習指導ⅠB」の専任教員等の配置を「准教授0」「講師2」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「保育実習指導Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」「講師3」から「准教授1」「講師2」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「小学校体育」の専任教員等の配置を「准教授0」「講師1」から「准教授1」「講師0」に変更。
- ・ 教職課程認定申請の審査結果により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「発達障害論」の専任教員等の配置を「准教授0」「講師1」から「准教授1」「講師0」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「保育表現演習」の専任教員等の配置を「准教授2」「講師1」から「准教授3」「講師0」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「障害者・障害児心理学」「レクリエーション実習」の専任教員等の配置を「准教授0」「講師1」から「准教授1」「講師0」に変更。

- (注) ・ 2(1)①授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	190 科目	0 科目	210 科目	20 科目 [ 0 ]	190 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	210 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	児童英語海外教育研修	2	1	専門	選択	航空運賃の高騰とコロナ感染状況を考慮し、令和6年度から開講とする。
2	比較教育体験実習	2	1	専門	選択	航空運賃の高騰とコロナ感染状況を考慮し、令和6年度から開講とする。
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和5年度の未開講についてはやむを得ないことであり、学生へは4月のガイダンスにおいて周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{210} = \boxed{0.95} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	10,527 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	10,527 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	3,266 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	3,266 m <sup>2</sup>			
	小 計	13,793 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	13,793 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	46,565 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	46,565 m <sup>2</sup>			
	合 計	60,358 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	60,358 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		19,542 m <sup>2</sup> ( 19,542 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	19,542 m <sup>2</sup> ( 19,542 m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		20 室	13 室	43 室	2 室 (補助職員 2 人)	2 室 (補助職員 1 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		子ども教育学科			15 14 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	子ども教育学科	10,568 [648] ( 9,610 [448]) <del>( 9,568 [448])</del>	90 [ 5] ( 77 [ 4])	2 [ 2] ( 2 [ 2])	700 ( 658)	0 ( 0)	0 ( 0)	
	計	10,568 [648] ( 9,610 [448]) <del>( 9,568 [448])</del>	90 [ 5] ( 77 [ 4])	2 [ 2] ( 2 [ 2])	700 ( 658)	0 ( 0)	0 ( 0)	
(6) 図 書 館		面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		1,446 m <sup>2</sup>	190		146,000			
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		754 m <sup>2</sup>	テニスコート 1 面 体育用更衣室					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	1,650千円	1,650千円	1,650千円
	共同研究費等	200千円	200千円	設備購入費	500千円	300千円	300千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		1,225千円	1,126千円	1,157千円 <del>1,145千円</del>	1,135千円 <del>1,132千円</del>	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、寄付金収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	仙台白百合女子大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
人間学部	4	275	3年次15	1130	-	0.70	-	0.69	-	-	平成8	宮城県仙台市泉区 本町6番1号	令和5年度入学生より学生募集停止					
子ども教育学科	4	70	3年次5	290	学士 (人間科学)	0.51	-	0.51	-	-	令和5	同上						
人間発達学科	4	-	-	-	学士 (人間科学)	-	-	-	-	-	平成8	同上						
心理福祉学科	4	65	3年次5	270	学士 (人間科学)	0.81	-	0.77	-	-	平成24	同上						
健康栄養学科	4	80	-	320	学士 (人間科学)	0.80	-	0.82	-	-	平成13	同上						
グローバル・スタディーズ学科	4	60	3年次5	250	学士 (人間科学)	0.79	-	0.78	-	-	平成24	同上						
大学全体	4	275	3年次15	1130	-	-	-	-	-	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



## 5 教員組織の状況

<人間学部 子ども教育学科>

個人情報を含む内容のため、省略します。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	「該当なし」		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
    - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
    - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
    - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】  
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <人間学部 子ども教育学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

運営組織規程第11条第5項に基づき、本学における教育水準及び教員の資質・能力の向上と授業改善（ファカルティ・ディベロップメント）、並びに研究推進体制の充実と研究水準の向上を図り、関連施策を審議・推進する為に教育・研究推進委員会（以下「委員会」という）を置く。（教育・研究推進委員会規程 第1条）

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

委員会は定例委員会が毎月1回開催される。委員会の成立は委員の3分の2以上の出席と規定されており、定例委員会はすべて成立している。

###### c 委員会の審議事項等

教育・研究推進委員会の本項に関連する職掌事項には、(1)教員の授業改善の支援に関する事、(2)教職員研修会の企画に関する事、(3)ファカルティ・ディベロップメントに関する情報の収集と啓蒙に関する事、(4)個人及び共同研究の運営と整備に関する事、(5)科学研究費補助金等外部の競争的研究資金の獲得にかかる企画・運営・支援に関する事、(6)研究環境の改善、研究支援、研究助成に関する事、(7)「仙台白百合女子大学紀要」発行に関する事、(8)本学の教育・研究水準向上のために必要な事項がある。

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

教職員合同研修会の実施。

###### b 実施方法

令和4年度は9月及び3月に教職員合同で研修会を実施した。

###### c 開催状況（教員の参加状況含む）

9月の研修会は2部構成で1部「次世代全学システム」、2部「ハラスメント防止」をテーマとして実施した。参加状況は教員92.3%、職員97.7%であった。

3月の研修会では「授業とカリキュラムのPDCAサイクル」「次世代全学システムの本番稼働に向けて」「UNIPAの機能」の3つのテーマについて実施した。参加状況は教員88.5%、職員95.2%であった。

###### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

子ども教育学科では、「次世代全学システム」研修会の成果を生かして、新ポータルシステム「UNIPA」を用いて、学習環境の向上や学生への学習指導・支援に関する複数の取り組みを展開した。例えば、まず、授業の出欠の管理、授業資料の配布、レポート課題の回収、成績管理などの作業をデジタルシステムで行うことで、授業活動のデジタル化と効率化を図った。次に、画像や動画などの学習コンテンツを活用したり、学外の教育資源（専門家やコンテンツ）へのアクセスを充実したりすることで、授業の内容と方法の多様化を図った。最後に、授業資料、プロジェクト学習、レポート課題などの学習の履歴や結果物を、学生の学修ポートフォリオと連動させることで、教員と学生自身が指導・学習の成果と課題を確認し、学習支援の個別最適化と学修成果の可視化を図った。

また、「内部質保証のPDCAサイクル」研修会の内容を踏まえて、シラバスにディプロマ・ポリシーと各科目の到達目標との関係や各科目における評価方法と到達目標の関係を明記し、授業アンケートや成績評価と到達目標との関係の明確化を図るなど、授業レベルでの学修成果の可視化を図った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施している。各学期末の年2回。

b 教員や学生への公開状況、方法等

科目担当者に対して公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

子ども教育学科は、従来人間発達学科を母体として令和5年4月に開設された。本学の教育理念であるキリスト教の愛の教えに基づき、子どもの成長・発達・教育の支援に強い関心を持ち、専門職としての知識・技能を習得させると同時に、幅広い教養や国際感覚、特に心理学や語学、芸術面に秀でた人材を育成し、広く社会に貢献できる人材の育成を目的としている。

小学校における教科担任制やGIGAスクール構想に対応するべく、小学校教諭一種免許状と中学校教諭一種免許状(英語)を取得できる「学校教育コース」と、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格を取得できる「幼児教育コース」の2コースを設けている。開設初年度(令和5年度)は募集定員70名に対して志願者数59名となり、前年度の志願者数80名を下回ったものの、入学者数は36名で定員充足率は51.4%となり、前年度の定員充足率35.0%(募集定員80名)を上回る結果を得た。入学者の県別分布を見ると、宮城県内の高校出身者が多く、今後、他県への広報活動が必要と考えられる。

本学では、全学的に自己点検・評価委員会によってPDCAサイクルによる自己点検活動が展開されており、令和5年度の本学科の部署別年次目標として、学科開設に伴うカリキュラムの円滑な運営、及び2年進級時のコース分けの指導を最優先に掲げている。

専門職としての知識・技能を習得させるため、初年次教育については、従来から開講している学部共通の「共通基礎演習」に加えて、学科独自の「子ども教育入門」を必修科目として設けている。大学における基本的な学習方法ばかりでなく、学科教員の専門領域の知識や技術に関する講義・演習により、子どもを多角的に見て指導する力を養うことを目指している。

また、幅広い教養や国際感覚を身につけさせるために設けた「児童英語海外教育研修(米国カリフォルニア大学アーバイン校)」及び「比較教育体験実習(韓国誠信女子大学校)」の2つの海外研修旅行を令和6年度から催行できるよう、鋭意準備を進めている。

② 自己点検・評価報告書

本学では「自己点検・評価委員会規程」に基づき、自己点検・評価活動の客観性・公平性を担保し、教育研究水準の更なる向上を図るため、外部有識者による評価を行う外部評価委員会を設置している。

a 公表(予定)時期

令和5年1月に実施した外部評価委員会報告書を公表済み。

b 公表方法

大学ホームページ上に公表済み。

③ 認証評価を受ける計画

公益財団法人大学基準協会の大学評価を受審し令和3年3月に適合認定された。

評価結果は大学ホームページ上に公表済み。

認定期間は令和10年3月31日までなので、令和9年度に次期の認証評価を受けるための準備を進める。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・ 無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。